

地域包括ケアシステム

1 ハード

→ 拠点(病院)を中心とする

保健・医療・福祉総合施設(保健福祉センター・老健施設等)

2 ソフト

→

○ 健康づくり運動

→ 一次予防(健康日本21)

○ 介護予防(寝たきりゼロ作戦)

○ 在宅ケア

○ 保健・医療・福祉・介護の連携

○ 施設ケアと在宅ケアの連携

○ 住民参加

3 地域のニーズに応える

→ ハードとソフトの連携

(公立みつぎ総合病院)

地域包括ケアシステム 5つのポイント

(御調町)

○ 健康づくり

○ 在宅ケア → 寝たきりゼロ作戦

→ 「待ちの医療」から「出ていく医療」

○ 機構改革

→ 保健・医療・福祉の統合

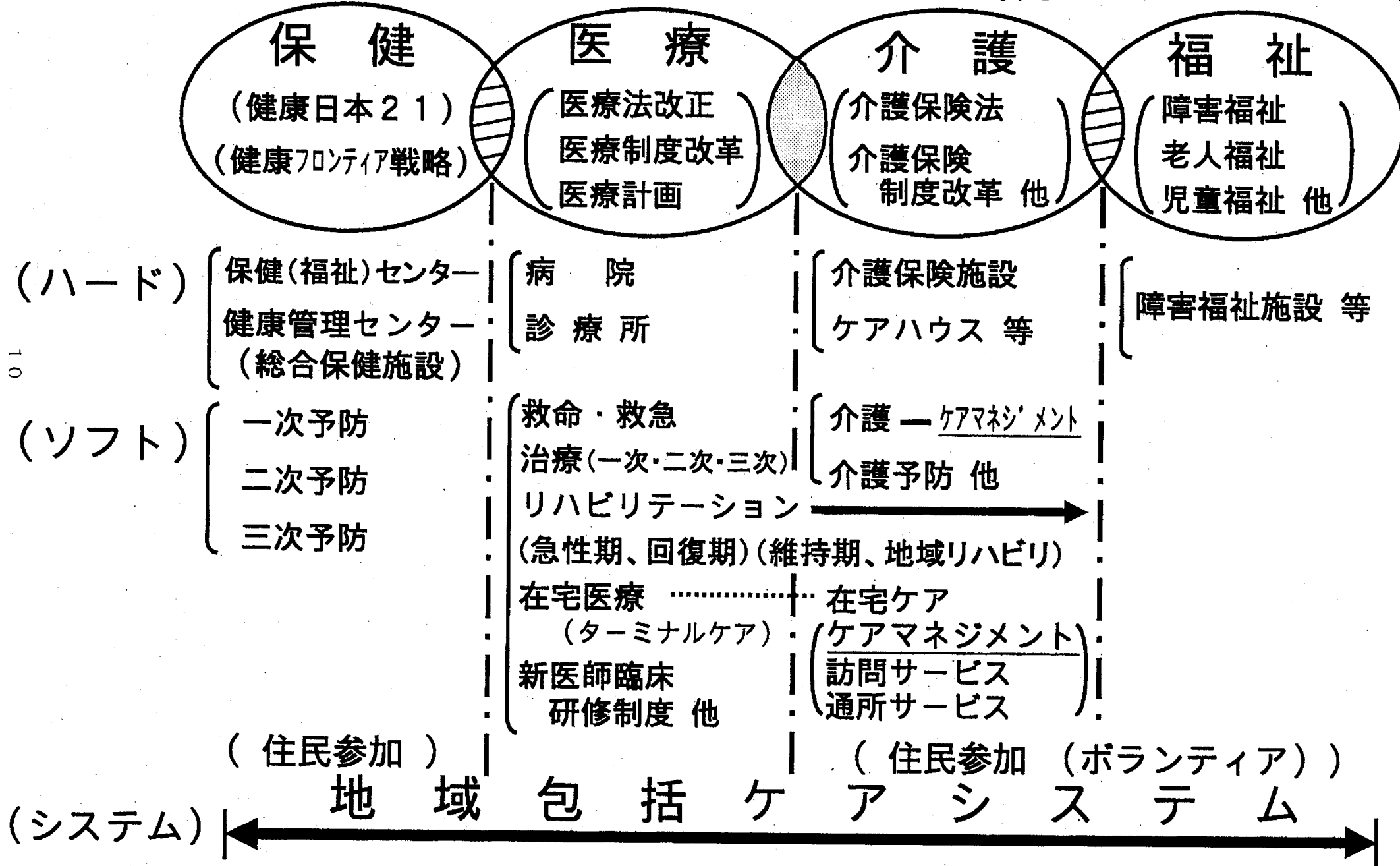
○ 拠点整備

→ 保健福祉総合施設

○ 福祉バンク

→ ボランティア組織 (住民参加)

地域包括ケアシステムの概念



地域包括医療（ケア）とは

- 地域に包括医療を、社会的要因を配慮しつつ継続して実践し、住民のQOLの向上をめざすもの
- 包括医療（ケア）とは治療（キュア）のみならず保健サービス（健康づくり）、在宅ケア、リハビリテーション、福祉・介護サービスのすべてを包含するもので、施設ケアと在宅ケアとの連携及び住民参加のもとに、生活・ノーマライゼーションを視野に入れた全人的医療（ケア）
- 地域とは単なる Areaではなく

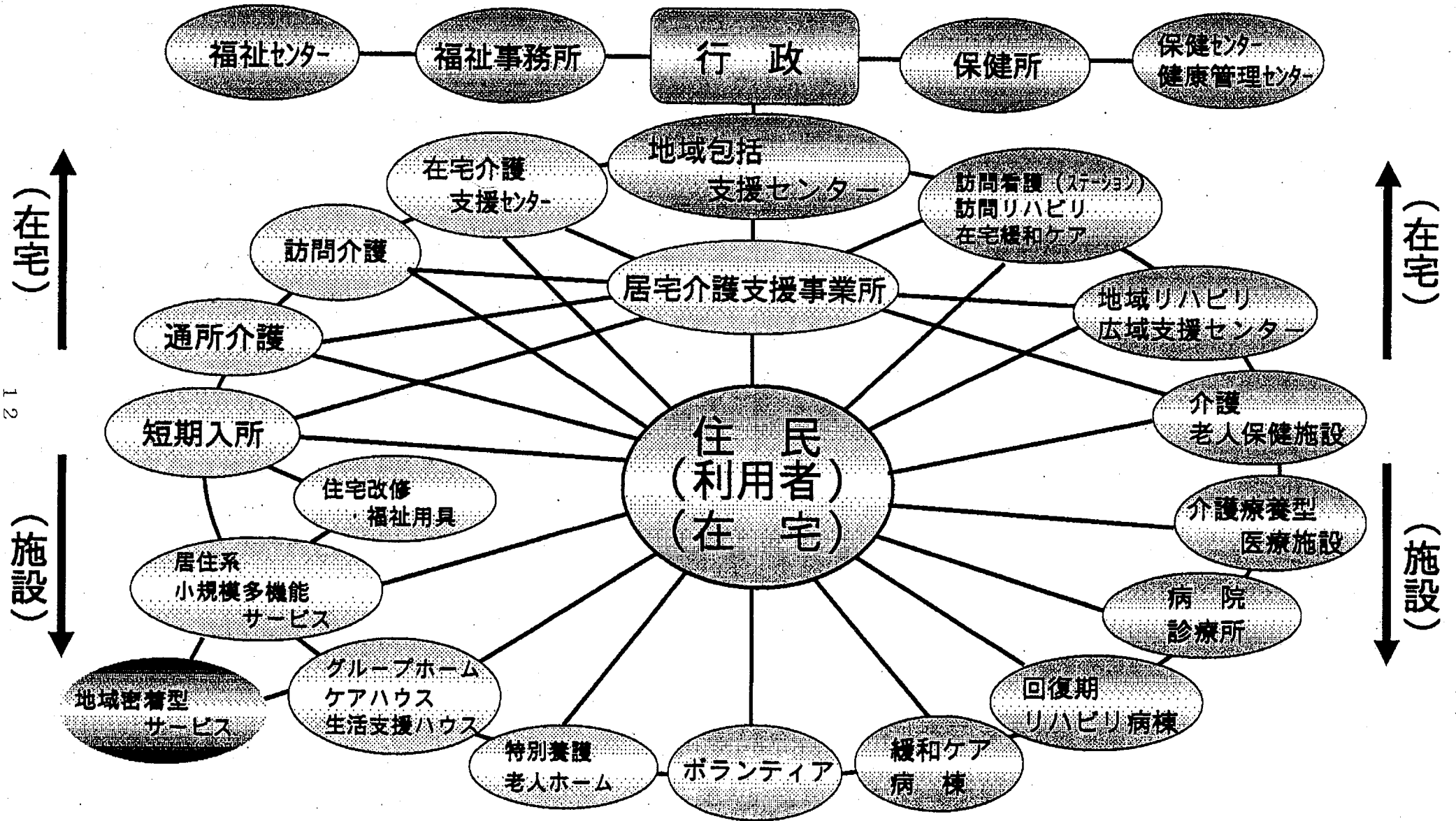
Communityを指す

（山口 昇）

地域包括ケアの概念

(福祉)

(保健・医療)



地域包括ケアシステム構築の手法

- 農 村 型
- 都 市 型
- 大 都 市 型
- 団 地 型

地域包括ケアシステムの問題点

- 「人」と「金」 —— [マンパワーの確保
財源
- 保健・医療・福祉の連携（機構改革）
—— 再編・統合
- 首長の理解とやる気
- 拠点の有無（国保総合保健施設）
- 保健・医療関係者と福祉関係者の相互理解と連携
- 住民の協力と参加
- ハードとソフトの連携
- 介護保険制度との関わり

地域完結型の地域包括ケアシステム

- 地域に保健・医療・リハビリテーション・介護・福祉のサービス提供体制（ハード、ソフト）と連携システムがあること
- 状態像に応じた必要なサービス提供が可能なこと
- 医療機関の役割（機能）分担と連携
- 点から線へ、線から面へ
—— ネットワークの構築
- 全人的医療
- 地域住民のニーズに応えられる保健・医療・介護・福祉